

国連「水と衛生に関する諮問委員会」第3回会合  
議長コメント

2005年11月4日

国連「水と衛生に関する諮問委員会」は、2005年11月3日及び4日にイタリア国ローマにおいて第3回会合を開催した。

この第3回会合の議論の結果、諮問委員会は2006年3月にメキシコシティーで開催される第4回世界水フォーラムにおいて諮問委員会の行動計画「Your Action, Our Action」を発表することに決定した。この行動計画は水と衛生に関する国連千年紀目標（MDG）達成のために国連はじめ関係機関がなすべき措置とそれを実現するために諮問委員会が起こす行動を取りまとめるものである。行動計画は、諮問委員会としての世界に向けたメッセージと、水と衛生に関して最も重要な課題別に、世界と諮問委員会が起こす行動について取りまとめる。

この行動計画を取りまとめるため、第3回会合において次の3つの主要課題に関する討議を行った。

水と衛生に関する公的セクターのサービス向上達成のための官官協力  
資金調達に関する諸提言の実施  
衛生に関する諸提言の実施

討議は今までの数多くなされてきた水と衛生に関する議論や提言を繰り返すのではなく、今までの多くの提言や合意に立脚し、その中で最も重要な提言等を実現するために諮問委員会が世界と協力してどのような活動を起こすのかを中心に議論した。

水と衛生に関する公的セクターのサービス向上達成のための官官協力については、現在世界の水と衛生分野の施設整備運営の95%を担っている公共企業が相互に連携協力し、効率性やサービスの向上を図っていくための新たな枠組みとその実現方策、実現に至るまでの諮問委員会の行動についての議論を行った。

資金調達に関する諸提言の実施については、国連 MDG タスクフォースやカムデス報告をはじめとする既存の提言に基づいて、今後諮問委員会がどのような具体的行動を起こすべきかを議論した。水と衛生への資金の流れを増やす方策として、ガバナンスの向上や国際・国内資金の調達促進、新たな資金調達メカニズムの可能性について議論を行った。

衛生に関する諸提言の実施については、上水道に比較して進捗度が低く、MDGの達成が危ぶまれている衛生分野について既存の有効な提言を選択し、その提言の実現に向けた諮問委員会の行動についての議論を行った。当テーマについては、今後衛生部門の専門家からさらなる情報収集を行い、第4回諮問委員会において引き続き議論を行っていくことで

合意された。

これらの結果は諮問委員会行動計画「Your Action, our Action」で詳細を公表することとし、水と衛生に関するモニタリングの実施など、他の主要課題についても今後の会合で議論を行い、行動計画に取りまとめる。

この会合の期間中の11月3日、諮問委員会は議論の透明性を高め、その成果を市民と共有し、水と衛生に関する国際世論の高揚を図るための公式ウェブサイトの運営を開始した。公式ウェブサイト (<http://www.unsgab.org>) では今までの諮問委員会の議論の経過、委員のプロフィール、今後の行動予定などを掲載している。

諮問委員会はまた、諮問委員会の議論の透明化と効率化を図るため、諮問委員会で行う議論の基礎となる報告書や文書を公開することとし、それらを分類整理した諮問委員会の文書の小図書館である「ビブリオテカ」を発表した。このビブリオテカは公式ウェブサイトで公表されている。

水と衛生に関する世論の高揚については、上記の活動に加え議長を中心に新たな活動を検討し、速やかに実施に移すことを確認した。

諮問委員会は行動計画の策定に向け集中討議を行うため、次回（第4回）会合を2006年2月にドイツ国ベルリンで、第5回会合を2005年3月にメキシコ国メキシコシティで開催することを決定した。会合の日時等については決定次第、公式ウェブサイト等を通じ公表する。

今回会合の開催にあたり、ホスト国を努めたイタリア政府に対し諮問委員会として深甚な謝意を表す。